

あま み きょう くん ことわざ 奄美の教訓（諺）

奄美に昔から伝わる島口の教訓歌を紹介します。皆さんはいくつ知っていますか。

こころも

心持ちなりや

ばしゃ は ひろ まつ は いば こころも
芭蕉の葉ぬ広さ松ぬ葉ぬ狭さ心持つな

【解 釈】

心持ちは芭蕉の葉のように広く大きく持ちなさい。松の葉のように狭い心を持つてはいけません。
(日ごろの心がけ)



むず やま ちゅ〜 せけん

水や山うかげ人や世間うかげ

【解 釈】

水が山の森林によって育まれるように我々人間は直接間接に世間の恩恵を受けている。世間、他人様に感謝し、地域社会に役立つようにしたいものだ。

(感謝忘れず)



はな じょう ず
話し上手なりゅんくま

き じょう ず
聞き上手なれ

【解 釈】

話し上手なものもよいがそれにもまして大事なことは聞き上手である。子どもが心を開き何でも語ってくれる親子関係こそ大事である。相手の話を一つ残さず聞き取って他に学ぶことこそ身の得である。
(まずは、話を聞く)



あつ さ ねた こ
熱さや冷まし 妬さや堪ねれ

【解 釈】

熱い飲み物は冷やして飲みなさい。腹が立つときはこらえにこらえて我慢しよう。短気が損気にならないように冷静に考えよう。

(一度、おちついて)



島口の教訓は、集落によって違います。あくまでもひとつの例として載せています。

奄美に伝わる教訓(諺)



話そうしまのこぼ 語継ごう奄美の文化

大島地区文化協会連絡協議会

(事務局：鹿児島県大島支庁総務企画課 〒894-8501 奄美市名瀬永田町17番3号 TEL 0997-57-7218)

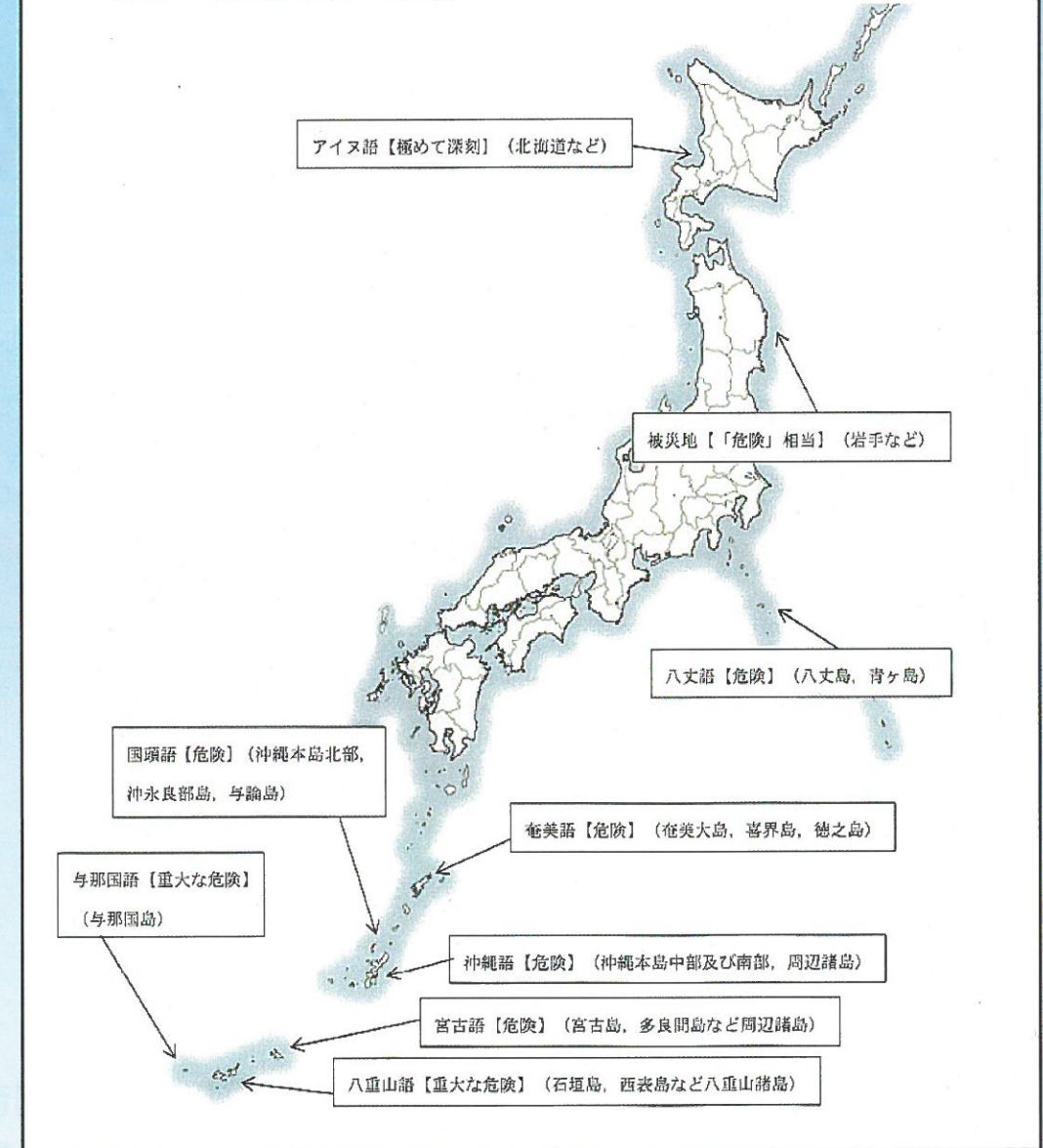
<http://www.pref.kagoshima.jp/chiiki/oshima/kyoiku/oosimatikuhougennohi.html>

ユネスコ（国連教育科学文化機関）は平成21年2月に、日本国内の8つの言語・方言が消滅の危機にあるものと認定していますが、その中に奄美の方言も含まれています。これらの言語・方言の消滅の危機を回避し、保存、継承の道を皆で考えてもらうため、国は、県や地元自治体と連携して「危機的な状況にある言語・方言サミット」を開催しています。平成28年11月13日には与論町で開催されました。

“Atlas of the World’s Languages in Danger”（UNESCO2009）で

消滅の危機にあるとされた日本国内の言語・方言 及び

東日本大震災の被災地の方言



大島地区文化連絡協議会では、近年、衰退しつつある奄美方言を保存・伝承していくことを目的に、平成19年度から2月18日を大島地区の「方言の日」と定めています。大島地区の各市町村では、方言に関するイベントや島口カレンダーの作成、学校ではカルタ大会や劇を島口（方言）で行うなどの活動を行っています。奄美の島口を将来に残していくため、学校や家でも島口を使ってみましょう。